

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21 48	食事作りを一部の利用者のみでおこなってしまい、他利用者が置き去りとなっていることがある。	利用者全員が何らかの役割を持ち、食事作りに参加することができる。	食事作りの際は、スタッフは皆に声を掛け、皆が参加できる雰囲気づくりをする。 スタッフは役割を利用者皆に振り分け、参加を促していく。	6ヶ月
2	1 6 7	虐待や拘束とまではいかないが、知らず知らずのうちに不適切なケアとなっている可能性がある。 不適切なケアは、すなわち法人の理念に反している。	虐待に繋がり兼ねない不適切なケアの知識を持ち、意識して支援にあたることで、拘束や虐待を防止し、利用者の人権を尊重する。	分科会で不適切なケアについて学ぶ。 日々の支援の中で、職員間で注意しあったり、意見交換を行う。 法人の理念通りのケアを行っているか、不適切なケアとなっていないかを常に振り返る。	6ヶ月
3	34	全く予測のできなかった急変時の対応について周知できていない。	急変時の対応について、全職員が知識を持ち、落ち着いて対応できる。	消防署の緊急訓練を受ける。 分科会で救急対応について学ぶ。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。